

ワーケーションをきっかけに魚津市の地域課題へ取り組む



魚津駅をバックにアルファコムの松原氏と、魚津市役所の高森氏

アルファコム株式会社

東京・大阪・福岡に拠点を置き、有人チャットサービスなどのITソリューション事業やシステム開発事業を行う企業。大手金融機関や大手通信事業社にもソリューション提供している。従業員数約25名。



富山県魚津市

人口約4万人、富山県の北東部に位置し、県庁所在地である富山市から車で30分ほど。蜃気楼の見える街として知られており、3月下旬から6月中旬にかけ、年20回程度、幻想的な自然の神秘“蜃気楼”が出現する。

プロジェクト担当者



松原 悟さん

アルファコム株式会社
代表取締役社長／CEO

地域担当者



高森 哲也さん

富山県
魚津市 産業建設部 商工観光課 課長代理

取組概要

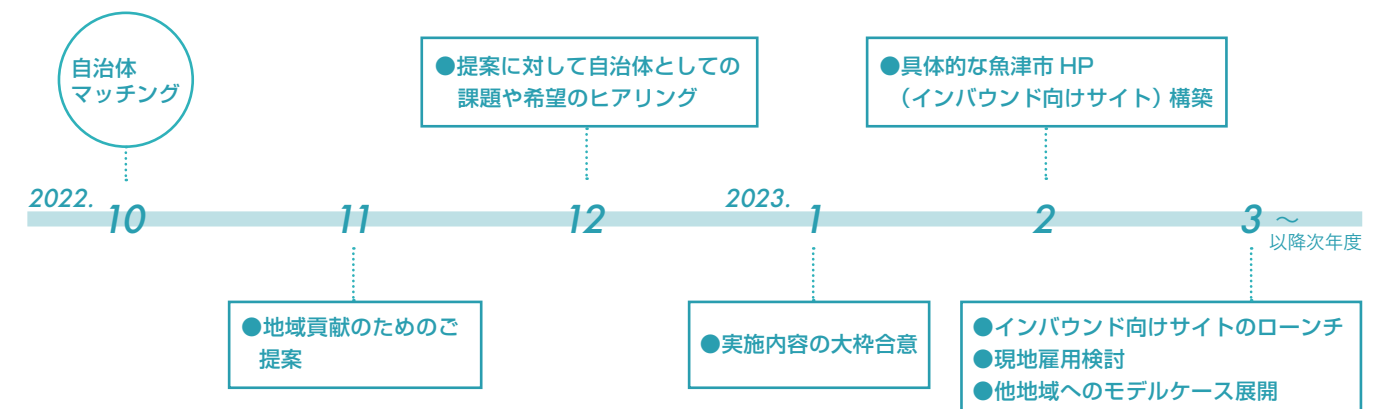
ワーケーションとあわせて 地域の課題解決を

アルファコム株式会社（以降、アルファコム）は、コロナ禍で社員のテレワークが進み、今後の働き方として、「都内のオフィスに集まって働く」ことの見直しを始めました。また、人手不足による首都圏での人材採用難や、BCPの観点から、地方での雇用も積極的に目指すことになりました。さらに、社員の仕事へのエンゲージメント向上を目的としたワーケーション導入にも関心があつたことから、本事業では魚津市での将来的な拠点設置も見据えたワーケーションの実証を行いました。

魚津市は都内からのアクセスもよく、現地での移動もレンタカーが不要という交通の利便性、ワーケーションという観点から海も山も近く、食べ物がおいしいという特色などが決め手となりました。

ワーケーションの実証として、3回に分けて3日間の日程で社員が魚津市を訪れました。また行政との初回打ち合わせ時に魚津市が抱える地域課題をヒアリングし、その課題解決に向けて、アルファコムのソリューションやノウハウを活かしたプロジェクトを行政と連携して立ち上げました。具体的には、インバウンド向けのサイト構築、チャットボットの導入、地域通貨「MiraPay（ミラペイ）」の普及に向けた発信等を行います。

実証スケジュール



参加者の声



矢野 司さん

アルファコム社員

私はパソコンとネットワークがあればどこでも仕事は出来るので、魚津市に来て問題なく仕事を行うことが出来ました。場所が変わったことで気分が変わり、自宅とは異なる場所でのテレワークも良いと思いました。普段は東京のオフィスに出社していることが多く、満員電車で通勤しています。魚津市ではホテルから徒歩でさまざまな場所に行け、混雑がないので、ストレスなくリラックスして過ごせました。今後、もし魚津市にワーケーション拠点が出来たら、有効活用したいと思います。



仲屋 亘さん

アルファコム社員

私は基本的に自宅でテレワークを活用して仕事をしており、社員同士対面で顔を合わせることがここ数年ほとんどありませんでした。ですので、魚津市でのテレワークでも特に仕事上は問題がなく、他の拠点にいる社員などと対面で交流ができてとてもよかったと思います。今回実際に魚津市の市民の方々と接してみて、皆さんとても素直で丁寧な対応をしてくださるので、今後拠点を置いて採用を行うとしたらとてもよい人材を確保できるのではという期待が持てました。

実証結果

地域の課題解決へ貢献！ 今後の成功事例に

アルファコムでは、ワーケーションを通じて地域に関わるだけではなく、魚津市の行政の方と連携して、地域の持つ課題解決に取り組み、インバウンド向けのサイト構築や地域通貨の普及に向けたキャンペーン等の企画が出来たことが一番の成果となりました。短期間での取り組みだったので困難な側面もありましたが、サイトが完成し、地域通貨アプリのダウンロード数拡大に向けた Twitter キャンペーンも実施できました。アルファコムが初めて地方自治体と連携した取り組みである本事業において、一定の成果を出すことで、今後も様々な地方自治体と連携して各地域が抱えている課題解決へ貢献できたらと考えています。

実際に、他の自治体も今回の取り組みに興味を持ち始め

ています。なかなか企業単独では地方自治体の方と接点を持つことは難しいこともあり、今回の実証事業を通じて魚津市と地域課題の解決に向けて協働できたことは、アルファコムにとっても大きな成果となりました。

会社としてワーケーションの仕組み、ルールづくりの確立が課題として残りました。3回に分けて延べ15人のワーケーションに参加した社員の声を元に、企業と個人がどこまで費用負担をするかなどの社内制度を設計する予定です。

また将来的な現地雇用に向けて、魚津市内のハローワークで富山県内の採用状況などのヒアリングを行い、採用までには一定の時間を要することがわかりました。そこで、まずは一度求人を出してみても検証し、またテレワーク勉強会などを開催してIT企業で働くことのハードルを下げることを検討しています。

魚津市からのメッセージ

魚津市では、サテライトオフィスの誘致を2.3年前から取り組んで来ました。また市としてDX化を進めていく上では市単独ではノウハウに乏しいため、「DXによる地域課題解決を連携して取り組める企業の誘致」という課題を持っていました。今回のアルファコムさんとの出会いは、まさに対象としている企業だったのでとてもうれしかったです。

今回、アルファコムさんはサテライトオフィス設置を前提にワーケーションを行い、さらに市の重要事業と位置付けている地域通貨の普及に向けて一緒に取り組んでいただきました。SNSでの発信から、アルファコムさんのサー

ビスであるチャットボットの導入、地域通貨のアプリダウンロード数の向上に向けた様々なキャンペーンの企画立案等を実施いただいています。またチャットボットは、利用者からの質問に的確かつ瞬時に答えるツールとして、DX化を進めていく行政にとって非常に大切だと感じました。ワーケーションで来ていただいた際にサテライトオフィスの物件等の紹介も行っており、次年度以降も地域通貨の事業をはじめ連携してDX化等に取り組んでいけたらと思っています。

魚津市 産業建設部 商工観光課 課長代理
高森 哲也さん



オーシャンビューの絶景 ワークションスペース「渚泊 魚津丸」



目の前の海でほっと一息つけるのもワーケーションの醍醐味



魚津市の名物は「蟹気楼、ほたるいか、埋没林」



魚津市役所で打ち合わせ

企業としての展望

アルファコムは、魚津市とは地域通貨の普及活動や、今回作成したサイトを有効活用する取り組みを次年度以降も継続したいと考えています。もし今後、運用面等でサポートすることになれば、魚津市内に拠点をつくり、そのサポート部隊を置く予定です。将来的には、現地雇用で魚津市民が魚津市の地域課題解決に資する活動を行う仕組みを構築できると考えています。

アルファコムでは、社員の行きたい場所でどこでも働けるように、全国の自治体に拠点を置くことを目標としています。今回の事例を元にお声がかかった地域と連携した事業をおこし、そこに拠点を置いて現地での雇用も生み出していく。地方自治体の活性化に貢献し、地域で優秀な人材も雇用できる。そこを目指して、今後も地方創生テレワークを推進していきます。



	実施前	実施後	
実証実施前に期待した効果と実際の成果	●		採用の優位性の確保（優秀人材の確保）
	●		地方人材の採用・育成
			地方移住を希望する従業員の離職防止（テレワークによる就業継続）
	●	●	従業員のワークライフバランス向上
	●	●	福利厚生等を目的としたワーケーションの推進
	●		従業員の発想力・創造性向上によるイノベーション創出
	●	●	従業員同士のリアルなコミュニケーション機会の提供
		●	仕事の品質や効率の向上を目的としたワーケーションの推進
	●		企業イメージ・企業価値の向上
			地方オフィス活用（＋都市圏オフィス縮小）による家賃コスト等の削減
	●	●	地方自治体や地方企業との関係構築・新規ビジネス創出
	●		災害等のリスク分散による事業継続性アップ
	●		地域貢献、地方創生（東京一極集中を是正し、地域を盛り立てること）への寄与
			その他

➡ 人材採用は今後の取組となるが、地域との関係構築から具体的なビジネス創出に踏み込むことが出来た